

—学校教育目標—

豊かな心をもち

自ら学ぶたくましい子

(1)よく考えねばり強く学ぶ子

(2)心豊かで思いやりのある子

(3)すすんで体をきたえる元気な子

学校便り

第29号

H30年10月15日(月)

那覇市立

仲井真小学校

発行責任者

校長 宮里 寧

TEL 917-3330

仲井真っ子

2学期

心のスイッチ！

始業式

「暑さ寒さも彼岸まで」の言葉のとおり、仲井真小の校庭も秋らしくなりました。本日15日(月)体育館にて始業式を行いました。始業式は、子どものみならず、われら教師の心にも火をつける大事な時間です。学校全体が新鮮な気分スタートできることが大切です。子どもたちには、教育者、東井義雄さんの「心のスイッチ」という詩を読んで紹介しました。私が教育実習生のとき、指導教諭から教えてもらった詩です。その当時から、今でも心に残る詩です。

心のスイッチ

とういよしお
東井義雄

人間の目は、ふしぎな目、見ようという心がなかったら、見えても見えない。
人間の耳はふしぎな耳、聞こうという心がなかったら、聞いていても聞こえない。
ほんとうにそうだ、と、腹の底まで聞く人もある。
おなじように学校に来ていても、ちっともえらくなならない人がある。
毎日、ぐんぐんえらくなっていく人もある。
今までみんなから、つまらない子だと思われていた子でも、
心にスイッチがはいると、急にすばらしい子になる。
心のスイッチが、人間をつまらなくもし、すばらしくもしていくんだ。
電灯のスイッチが、家の中を明るくもし、暗くもするように。



詩を読んだ後、次のように話しました。今日は、みなさんの「心のスイッチ」が入る日です。心のスイッチが入ったら、次は、自分の足で歩き出すことが最も大事なことです。

一歩ずつ一歩ずつ自分の速さで確実に歩み続けましょう。



みなさんが大人になったとき、子どもに戻ってもう一度やり直したい、そんな後悔をしないように今を生きてほしいなあとは願っています。

小学校、中学校時代を精一杯生きてこそ、活力に満ちた青年に成長し、活力ある青年が、夢を追い続ける大人になっていくものだと思います。

さあ、新たなめあてをもち、実りの多い2学期にしていきましょう。

※お知らせ

昨日10月14日(日)、鹿児島県の「鹿児島アリーナ」にて、第36回九州小学校バンドフェスティバルが行われました。仲井真小学校音楽部は、沖縄県代表として出場し、見事「銀賞」をいただきました。おめでとうございます。